

## アメリ (2001)

LE FABULEUX DESTIN D'AMELIE POULAIN  
AMELIE  
AMELIE FROM MONTMARTRE

メディア 映画  
ジャンル コメディ ロマンس ファンタジー  
製作国 フランス  
時間 120分  
初公開日 2001/11/17  
公開情報 アルバトロス  
映倫 G  
リバイバル 2023/11/17 [アルバトロス・フィルム] (デジタルリマスター版)

## 【キャッチコピー】

幸せになる

## 【解説】

「ロスト・チルドレン」「エイリアン4」のジャン＝ピエール・ジュネ監督が、空想好きのちょっと変わった女の子の恋の道行きを、遊び心いっぱいレトロでキッチュでチャーミングに描いた心暖まるコメディ。主演は本作ですっかりフランス中を虜にしてしまった「エステサロン／ヴィーナス・ビューティ」のオドレイ・トトゥ。ジュネ作品につきもののある種の“いかがわしさ”は随分と控えなものとなり（マルク・キャロとのコンビ解消によるもの、とはジュネ本人の弁）、表面的にはひたすら陽に徹した傑作ファンタジー。

小さい頃から空想の世界が一番の遊び場だったアメリ。22歳になった今でも、モンマルトルのカフェで働き、周りの人々を観察しては想像力を膨らませて楽しんでいた。そんなアメリは、あることをきっかけに他の人を幸せにすることに喜びを見出す。他人の人生にこっそりおジャマしてはたのしい悪戯を仕掛け、人知れずお節介を焼いて回るのだった。そんなアメリも自分の幸せにはまったく無頓着。ある日、不思議な青年ニノに出会ったアメリはたちまち恋に落ちてしまうのだったが、アメリは自分の気持ちを素直にうち明けることが出来ない……。

ジュネ監督のディテールへのマニアックなまでのこだわりは健在。しかし、それがこれまでとは逆に徹底してポジティブに作用し、とにかく楽しいエピソードとチャーミングな映像が全編にちりばめられ、一瞬たりとも飽きさせない。フランスの現在抱えている様々な社会問題が完全に無視されていることに批判もあるそうだが、それゆえに愛すべき現実逃避映画とも言えよう。

## 【クレジット】

監督	ジャン＝ピエール・ジュネ	Jean-Pierre Jeunet	
製作	クローディー・オサール	Claudie Ossard	
脚本	ジャン＝ピエール・ジュネ	Jean-Pierre Jeunet	
	ギョーム・ローラン	Guillaume Laurant	
撮影	ブリュノ・デルボネル	Bruno Delbonnel	
特殊効果	イヴ・ドマンジュー	Yves Domenjoud	
衣装デザイン	マデリーヌ・フォンテーヌ	Madeline Fontaine	
音楽	ヤン・ティルセン	Yann Tiersen	
ナレーション	アンドレ・デュソリエ	Andre Dussollier	
出演	オドレイ・トトゥ	Audrey Tautou	アメリ
	マチュー・カソヴィッツ	Mathieu Kassovitz	ニノ

ヨランド・モロー	Yolande Moreau
ジャメル・ドゥブーズ	Jamel Debbouze
イザベル・ナンティ	Isabelle Nanty
ドミニク・ピノン	Dominique Pinon
リュファス	Rufus
ミシェル・ロバン	Michel Robin